第31号　平成29年６月１日発行

2017
2月定例会
NO.31

まつえ
MATSUE CITY COUNCIL
NEWS LETTER

市議会だより

天神川（遊航）

売布神社

小林如泥の作品（歳徳神）

出世稲荷神社

平成の松江風土記⑯

歴史と自然溢れる心の散歩道　白潟

白潟地区には、大きな神社が３つあり、28のお寺が集まっていますので、それぞれの由緒や歴史に触れることで思わぬ発見が楽しめます。

天神川では、お祝い舟に乗船して地域の子どもたちの新たな門出を祝う遊航が毎年行われます。売布神社は、「出雲風土記」に名のみられる古代からの神社で、白潟全域の氏神様です。７代藩主不昧公は小林如泥の作品を来客に自慢して見せたそうです。出世稲荷神社は、松江三大稲荷の一社で、この稲荷に信心あつい人には成功する人が多く、自然にこの社名が広まりました。

発行・松江市議会　編集・議会広報等特別委員会

2月定例会

平成29年2月22日～3月16日

中核市の指定を総務大臣に申し出る議案や、地方創生に取り組む予算などを可決

2月定例会は、平成29年度予算案件13件（一般会計1件、特別会計7件、公営企業会計5件）、条例案件23件、一般案件58件、平成28年度補正予算11件を審議、全て原案可決しました。このうち、中核市の指定を総務大臣に申し出る議案や松江市総合計画を定める議案も可決しました。

また、議員提出案件1件と諮問1件を審議し、全て可決しました。

一般質問には18名の議員が立ち、中核市移行に関すること、地方創生への取り組み、保育所待機児童対策等、各般にわたり論戦を展開し、市長など執行部の考え方を問いただしました。

平成29年度予算

当初予算は4月の市長選挙を控えた骨格予算とし、一般会計予算総額は930億6,700万円（前年比▲46億600万円、4.7%減）、特別会計は486億9,299万円（前年比▲17億8,629万円、3.5%減）、公営企業会計は414億5,958万円（前年比▲12億7,152万円、3.0%減）となっています。

本会議での審議の様子

平成28年度補正予算

一般会計補正予算額は、27億1,644万円の増（補正後総額1,025億2,740万円）で、国の経済対策に呼応した平成29年度当初予算と一体となって実施していく予算となっています。

特別会計は1億5,675万円の増、公営企業会計は10億4，662万円の減で、決算見込みなどによるものです。

条例の制定・改正など（主なもの）

松江市個人情報保護条例の一部改正について

情報ネットワークシステムを利用した情報連携を行う際の情報提供等記録を訂正した際の通知先に、地方公共団体が条例で定める独自利用事務実施者（個人情報保護委員会規則で定めるものに限る。）を加えるもの。

松江市個人番号カード利用条例の廃止について

証明書自動交付機による証明書の発行を終了することに伴い、条例を廃止するもの。

松江市保育料条例等の一部改正について

国において、平成29年度から、ひとり親世帯及び低所得者世帯に対する保育料の軽減が拡充されることに伴い、松江市が定める保育料について所要の改正を行うもの。

松江市簡易水道事業の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

松江市簡易水道事業の廃止に伴い、所要の改正等を行うもの。

中核市の指定の申出について

中核市の指定を総務大臣に申し出ることについて議会の議決を求めるもの。

松江市総合計画を定めることについて

松江市総合計画条例第3条の規定に基づき、松江市総合計画の基本構想を定めるもの。

議員提出案件

件	名	結　果
議員提出議案第1号	高齢運転者の交通事故防止対策の推進を求める意見書について	原案可決（全員）

その他案件

件	名	結　果
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦に関する意見の通知について	可決（全員）

請願の審査結果

件	名	提　出　者	結　果
請願第5号	年金の毎月支給を求めることについて	全日本年金者組合島根県本部東部支部 執行委員長　浅　野　史　朗	不採択

予算委員会の主な審査内容

３月２日に平成29年度予算について総括質疑を行い、その後、総務・教育民生・経済・建設環境の４つの予算委員会分科会において審査をしました。そして、3月13日の予算委員会で、各分科会長より審査内容が報告され、討論、採決の結果、可決されました。

予算委員会での主な討論（平成29年度一般会計）

賛成討論

政策的経費を抑え、平成28年度予算に33億円の投資的経費を計上したため、予算総額は昨年度に比べ46億600万円の減となっているが、総合戦略関連事業費は100事業、約35億8,351万円が計上されており評価をする。地方消費税交付金は変動要素の大きい財源であり、交付税制度における補填措置が無い。今後国に対し交付税制度の見直しを要望されたい。

反対討論

⑴原発交付金が経常経費に多く充てられている。⑵道州制の実態づくりを地方の側から進めている。⑶プライバシー侵害等を常態化させるマイナンバー制度の推進を図る内容。⑷同和団体を特別扱い。⑸保育士の処遇改善が不十分。⑹学力テスト実施と、自衛隊での中学生職場体験の実施が盛り込まれていること。以上、６つの理由で反対する。

分科会での主な審査内容（質疑に対する執行部答弁）

〈総務分科会〉

◆電源立地地域対策交付金の性質別内訳について、道路事業費4.59%、施設など整備費に5.31%、改修費1.25%、人件費19.94%、維持管理経費55.2%、その他が13.72%である。

◆指定管理者制度における人件費は、厚生労働省が調査した県内企業の平均給与を用いている。県内企業の賃金が上がれば、それを反映する。

◆国民健康保険事業特別会計では、財政調整基金の平成29年度末残高は９億1,700万円余りを見込んでいる。平成11年の国通知の目安に基づけば、本市の基金残高の目安は７億円程度になる。

〈経済分科会〉

◆漁業者育成事業について本市では、漁船リース事業を受ける漁業団体等に対して、網など設備等の面での補助を考えている。

◆インバウンド観光推進事業に関連する外国人観光客のニーズ調査については、聞き取り調査、アンケート等を実施。観光庁からも情報を入手している。山陰インバウンド機構、島根県、これから設立予定の圏域のDMO等と連携しニーズの把握に努める。

◆アイルランドとの交流事業については、昨年６月にホストタウンに認定され、大使館訪問、大使の招聘（しょうへい）、アイルランドの青年の受け入れ等を予定している。

定置網漁業の様子

〈教育民生分科会〉

◆待機児童の解消について、幼稚園の空き教室を使って一時預かりできるよう、施設改修をどの程度するかなどについて検討している。

◆女子高の魅力化プロジェクトについて、専修学校や、大学などとの連携を通じての充実などを検討している。現在プロジェクト会議を開催し、方向性を集約している。

◆松江市立病院は、高度急性期病院として重症かつ高度な医療を必要とする患者を受け入れ、なるべく早期に退院していただくことを進めることにより、延べ入院患者数は減っていく見込みとしている。外来患者数については、がんセンターの診療開始に伴い、増える見込みとしている。

がんセンターの最新の放射線治療機器

〈建設環境分科会〉

◆エコクリーン松江管理運営費について、年度によって委託料の変動が大きいことから、平成27年度より11年間長期包括委託契約を結んで平準化をはかり、毎年10億2,900万円あまりを施設管理委託料として支出するものである。

◆JR松江駅前整備検討事業費について、駅の北口から大橋川までのエリアを対象に検討を行っている。駅前のタクシー乗り場、バス乗り場を含めてどうあるべきかについても検討している。

◆水道事業費については、簡易水道統合により厳しい経営が見込まれるので、国に対し要望活動を強化していきたいと考えている。

市政のここが聞きたい　18人の議員が質問

2月定例会　一般質問

2月定例会では、2月27日から3月1日までの3日間にわたり一般質問を行いました。
質問をした議員本人が通告した項目の中から一つ選び、要旨をまとめたものを掲載しています。

会派代表質問

森脇　勇人（松政クラブ）

- **中核市移行と土地利用の市長の決意**
- 市街化区域の道路等の整備について
- 大型二次補正予算の獲得成果
- 平成29年度予算について
- オリンピックホストタウン合宿誘致
- スポーツ振興について
- 松江市の人口動態について
- 夜間タクシーの運行について

質問　人口増加策と中核市に向けた市長の決意をうかがう

中核市移行はそれぞれの自治体が自ら選択するものであり、基準財政需要額の確保と圏域経済の活性化を行うべき。中核市移行と相反する現在の土地利用政策を今後どう考えていくのか、また土地利用による雇用や定住を含めた総体人口が減る中での地域の人口増加策への対応、中核市移行に向けた市長の決意を伺う。

回答　中核市は地方創生の大きな推進力

基準財政需要額は確保されることになっている。中核市移行により市民サービスの向上を初め土地利用、雇用、共創、子育て支援といった様々な要素が住みやすさ向上に繋がっていくと思っている。必要な施策を検討し着実に進めながら総合的な成果として人口と活力を維持していく必要がある。その第一歩として中核市制度実現に向けて努力したい。

会派代表質問

吉金　隆（松政クラブ）

- 12年経た平成の合併について
- 教育問題について
- **インフラについて**

質問　災害時の情報収集の為、トンネル内でラジオが聞ける受送信施設の設置を

アナウンサーは通常1分間に350文字で話すようであるが、災害時などはそれが450文字になっている。松江市の一番長いトンネルは時速40㎞で走行すると1分30秒かかる。災害時の避難では渋滞や動けないことも考えられるため、大切な放送を聞けない場合がある。市内35カ所のトンネルのうち、国道に1カ所、NEXCOに4カ所設置されているが、残り30カ所には受送信施設が無く、情報が得られないおそれがある。危機感を持って対応されたい。

回答　ラジオの再放送設備の設置は難しいと考えている

ラジオの送受信施設である再放送設備の設置は難しく、情報伝達の手段は防災メールなどを含め研究したい。

会派代表質問

南波　巖（真政クラブ）

- 地方創生の取り組み
- 地域ごとの総合戦略意見交換会
- 国際交流に伴う通訳の確保
- 庁舎玄関前のLED掲示板の設置
- 中核市移行の準備状況
- 保育所等への待機児童問題
- 消防本部・消防署の課題
- **松江市立病院の医療体制の充実**

質問　日本一素晴らしい医療体制の病院にするためには行政からの支援が必要

この春から「がんセンター」がオープンする。医療体制の充実には、人・物・金が不可欠と考える。その観点から、行政からの支援が必要と考える。市立病院は市民から見て安心できる誇れる病院として構築され、山陰一とは言わず日本一素晴らしい医療体制の病院になると思う。この点について、市政の施策展開としての見解を市長に伺う。

回答　市立病院の医療機能強化を主要施策としてあらゆる面で可能な限り支援する

総合計画の将来像として、「選ばれるまち　松江」の実現を掲げている。これは医療体制の充実が必要不可欠な要素である。今後市立病院の医療機能強化を主要施策のひとつとして位置づけ、あらゆる面で可能な限りの支援をしていく。

会派代表質問

田中　明子（公明クラブ）

- 2017年度予算
- 介護予防・日常生活支援総合事業
- **歯科保健事業の充実**

質問　松江市立休日歯科応急診療所の設備の更新についての考え方は

松江市の委託で、島根県歯科医師会館内の口腔保健センターにおいて33年余りにわたって休日歯科応急診療が行われ、急に歯が痛み出したとき市民にとってはありがたい。経年により診療チェアやレントゲン装置の買い替えが必要な状況であるが、こうした高価な器材の更新についてどのようにお考えか。

回答　今後の対応について県歯科医師会と協議をする

市立休日歯科応急診療所は、建物と医療機器を日曜、祝日に限り使用料を支払って借り受けることで実施している。診療チェアやレントゲンについて、松江市としても老朽化を認識しているので、今後県の歯科医師会と対応について協議をしたいと思っている。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

会派代表質問

津森（つもり）　良治（りょうじ）　（市民クラブ）

・人口ビジョン・第一次総合戦略に関連して
・中海の活用と周辺地域の振興について
・名義不明農地について
・住民票等の第三者取得による本人通知制度について

質問　水陸両用機の拠点整備について伺う

中海周辺地域の振興の起爆剤として期待している水陸両用機で、中海を離発着する遊覧飛行事業の誘致を進めていた事業に、国の地方創生拠点整備交付金の配分が決定した。今後の就航関連施設の整備、周辺地域の整備についての青写真を伺う。

回答　中海観光の拠点として活用していく

水陸両用機の拠点整備の狙いは、山陰両県にまたがる中海周辺地域の魅力アップと、新たな交通手段としての可能性である。整備内容は、中海干拓事業で生じた未利用地の一部を再利用し、水陸両用機の昇降場、駐機場や空港事務所、サイクリスト向け休憩所等を整備する。運航については、夏場を中心にチャーター便による遊覧飛行を計画し、中海観光の拠点として活用していく。

会派代表質問

吉儀（よしぎ）　敬子（けいこ）　（共産党議員団）

・市長の政治姿勢
・地産地消の推進
・保育所待機児童対策
・合併問題

質問　美保基地の空中給油機配備撤回を

共産党の住民アンケートで、美保基地の空中給油機配備反対が56%であり、民意は、配備反対である。

昨年12月13日に沖縄でオスプレイが空中給油中に墜落した。美保基地は2007年にアメリカ空軍の基地として使うことが閣議決定された。つまり美保基地は、米軍の飛行機にも給油でき、市役所上空で事故の可能性も出てきた。市長として、空中給油機配備に反対することが、民意を尊重することになるのではないか。

回答　総合的に判断して県へ回答

影響を大きく受ける地域住民は、配備に同意又は特に意見なしとの回答をいただき、市議会全員協議会も多数の意見は了とするものであった。総合的に判断し、運航の安全確保、地域振興に配慮することといった意見を付して県に回答した。

比良（ひら）　幸男（ゆきお）　（松政クラブ）

・若者定住について
・地域おこし協力隊事業について
・ふるさとの人材育成・学力向上について
・子育て・高齢化社会の環境整備について
・公共交通の充実について
・移動投票所の検討について

質問　企業内保育の充実について

空き施設を活用した共同企業内小規模保育等の可能性はないか。

回答　「企業主導型保育事業」の助成制度について積極的に周知したい

企業内保育は、本年度、多様な働き方に対応ができ、仕事と子育てとの両立など働きやすい環境をつくることを目的として、「企業主導型保育事業」が創設された。

この事業は、企業が職員の福利厚生の一環として設置するものだが、複数の企業が共同で設置することも可能で、他企業との共同利用や地域住民の子どもの受け入れも行うことができる。また、延長保育、病児保育、夜間保育などの運営費や病児保育スペース、一時預かりスペースなどの整備費についても認可施設と同様に助成を受けることができる。今後、市内の企業に対して、本制度について積極的に周知していきたいと考えている。

三島（みしま）　進（すすむ）　（松政クラブ）

・駐車場確保について
・国宝松江城、歴史館周辺に駐車場を
・パークアンドライドについて
・松江市所有地について
・殿町まちなみ環境保全会
・松江市所有の不動産売却について
・交通局所有の土地売却について
・行政の役割について

質問　市有地を年60万円で31台分借り、総会後利益配分をしているがいかがか

北殿町の31台分の駐車が出来る市有地を、年間60万円で一括で団体に貸し出している。この周辺の駐車場料金は1台当たり月1万円前後とのことであるが、これだけの財産をなぜ貸し出さないといけないのか。10年前から返して頂くように申し上げている。この団体は総会のときに利益配分をしている。許される話ではないがいかがか。

回答　早急に経緯と契約内容、使用の実態を調べて対処していきたい

これを貸したときの経緯と、契約内容、それから現在の使用の実態、こういったものを早急に調べて対処していきたいと思っている。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

岩本　雅之（いわもと　まさゆき）　（真政クラブ）

・待機児童の解消に向けて
・ボランティアポイント制度について
・松江市の総合計画について
・市民に対する行政スケジュールの情報提供を一本化することについて

質問　行政スケジュールを一本化し、市民にわかりやすく情報発信するべきである

様々なところに点在する行政スケジュールを一本化し、市民にわかりやすく情報発信するべきと思うが如何か。

回答　今後、市のホームページにまとめて掲載できるよう、速やかに対応する

行政の様々な取り組みについては、松江市のホームページで新着情報として掲載をしたり、市報松江で特集を組むなどの情報発信を行っているが、ご指摘のように、各部署が個別に発信しており、情報の一元化に至っていないのが現状である。今後市のホームページに事業実施時期などの年間スケジュールをまとめて掲載できるよう、速やかに新たなページをつくり対応してまいりたい。

森本　秀歳（もりもと　ひでとし）　（市民クラブ）

・線引き制度と都市計画税
・小中一貫教育の取り組み
・インドとの経済交流
・観光事業について
・自転車活用推進

質問　先頃実施されたインドからの研修受け入れの状況と今後の展望は

日本とインドの企業や大学の間での交流や新たな起業創出が期待されるが、先頃実施されたインドからの研修受け入れの状況と今後の展望について問う。

回答　人材受け入れに向け、環境整備をしていきたい

11名の研修生を受け入れ、島根大学やIT企業との交流、Ruby研修、就業体験を行った。研修生からは、自然豊かで暮らしやすく、IT企業に魅力を感じており、就業希望や企業進出の検討などの意向を伺っている。一方、IT企業からは技術力が高い、礼儀正しい等の好印象を持たれ、採用に向け具体的に検討すると聞いている。今後は、就職や留学、日本語教育や暮らしの支援などについて、経済界や島根大学、圏域市長会などと連携し、人材受け入れの環境整備をしていきたい。

長谷川修二（はせがわしゅうじ）　（公明クラブ）

・除雪対策について
・高齢者の運転免許証返納と地域公共交通の拡充について

質問　市内協力業者の方々への除雪装備の拡充について伺う

市内の協力業者の方々へ、2トン車や軽トラック、ジープ型車両用の排土板を整備するための助成金を設けて除雪装備の拡充と促進を図ってはどうか。

回答　除雪機械の確保は今後の課題であり、拡充について様々な方策を検討したい

近年、除雪作業に対応できる重機が減少してきていることから、除雪機械の確保は今後の課題である。

除雪機械の拡充について様々な方策を検討したい。

橘　祥朗（たちばな　よしあき）　（共産党議員団）

・除雪対策について
・支所と公民館の統合について
・八束保健福祉センターで行われていた保健福祉活動の今後について
・地域でのまちおこしについて
・北道路問題について

質問　市民目線で除雪対策の充実を

勤労者の増と高齢化で、除雪は行政に頼らざるを得ない。幹線道路の除雪を第一に、住民の声も取り入れ、生活道路、病院、学校など含めた計画を立てるべきで、計画は公表を。建設業者が減り、除雪要望に応じられない地域が増えている。燃料の助成制度を作り転用できる農機具の活用、自治会ごと除雪機を配備し、通学路や狭い生活道路の除雪に活用を。

回答　地域の声聞き計画を検討、公表も

除雪計画は平成22年の雪害を受けて国・県と作成したもので、今後は地域の声も入れて検討し公開する。農機具等の活用については、他市の事例を参考に住民との協働で除雪作業が出来るように有効な措置を検討する。雪害時の孤立予想地区へは「除雪機購入補助金」制度があり、その他自治会活動への助成もある、除雪機購入に助成制度の活用を。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

新井　昌禎（にいい　まさただ）　（友愛クラブ）

・積雪時の対応について
・比較的古い木造住宅が密集している地域における防火対策について
・日本一治安の良い「県都まつえ」の実現を目指す取り組みへの対応について

質問　地域の消防力の体制強化や整備充実に向けた検討状況について伺う

昨年12月に糸魚川市大規模火災が発生した。松江市内にも比較的古い木造住宅が密集しているが、この火災を教訓として、地域の消防力の体制強化や整備充実に向けた検討状況について伺う。

回答　消防力については、人員・機械装備・消防水利の３点を強化・整備している

消防力については、人員・機械装備・消防水利の３点が消防力の３要素として定義づけられている。人員については、地域の消防団などとの連携を一層強化することが重要である。機械装備と消防水利については、国が定める基準に基づき整備計画を策定し、計画的に整備を行うことで消防活動に万全を期している。また、県の応援協定に基づき、火災の状況に応じ消防水利の確保を地元事業所に要請できる体制を既に構築している。

野津　照雄（のつ　てるお）　（松政クラブ）

・ホーランエンヤについて
・宍道湖・中海での漁業振興、水質改善について
・大橋川改修事業の進捗、文化財発掘調査について
・新大橋の架け替えについて
・空き家対策について
・農業を取り巻く環境職業

質問　平成31年度斎行について、本市としての基本的な考えは如何か

新年度予算で706万９千円の予算となっているが、前回並みの体制か、基本的な市としての考え、神社関係、五大地への対応、日程についての考えは如何か。

回答　奉賛会、協賛会、松江城山稲荷神社、阿太加夜神社、五大地と協議を行う

ホーランエンヤは貴重な我々の文化遺産なので支援をさせて頂きたいと思っている。奉賛会、協賛会の立ち上げも前回同様に関係者の皆様と協議をしていく。日程についても、松江城山稲荷神社の意向を確認して、阿太加夜神社と五大地の連絡協議会、関係者の皆様と協議をしていく。４月からの準備の為に事務局を立ち上げて進めていきたく当初予算に計上させて頂いた。

野々内　誠（ののうち　まこと）　（松政クラブ）

・市総合計画の産業支援策について
・地域集会所に空き家を利用することについて
・保育所入所の待機児童対策について
・除雪体制について

質問　総合計画での産業施策の今後を問う

今議会で提案された市総合計画のうち、ものづくり産業振興や新産業の創出、企業立地の推進にはどう具体化し効果をあげる考えか伺う。また、地域と食を支える農林水産業の担い手づくりの取り組みや、農業者が求める各地域のビジョンを実施計画に示す考えを伺う。

回答　もうかる産業づくりに対応していく

もうかる企業づくりを目標に、IT技術を活用した生産性の向上や自社製品を持つこと等を支援していきたい。企業立地の推進では、県外からの誘致や地元企業の増設、移転にも応えられるよう対応していきたい。

農業は食糧危機を切り抜けるために非常に将来有望なものであるが、現実問題としては安定的に収益が上がっていくことだ。地産地消への連携や農業参入が安心して行えるよう講じていきたい。地域のビジョンは、平成29年度末に見直す農業振興計画に織り込みたい。

芦原　康江（あしはら　やすえ）　（無会派）

・使用済み核燃料に関する規制委員長の意見について
・鹿島地域振興基金の使途について

質問　使用済み核燃料搬出に関する規制委員長の意見に対する市長の感想は

原子力規制委員会の田中委員長から、中国電力に対して、島根原発１号機の廃止措置計画に関連して、使用済み核燃料の搬出に関する意見が出されている。それは「使用済み燃料は乾式容器に入れて保管するのが安全だと思う。使用済み燃料の処理を10年以内にやりますと言っても、できるかどうか全然見えない。地元からは厳しい意見が出ると思うが、安全を確保しつつ、一定程度の了解を求める努力が必要だろうと思う」といった内容である。市長の感想をお聞かせいただきたい。

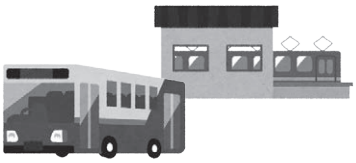
回答　再処理工場を稼働させ、搬出を求める

田中委員長の意見は、委員長個人の考え方を述べられたものと承知している。乾式貯蔵は、私の考え方と合わない。受け入れ先の再処理工場を早く稼働させ、安心・安全の観点から、早期に搬出をしていただきたい。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

片寄（かたよせ）　直行（なおゆき）　（共産党議員団）

・市長の政治姿勢



質問　LRTは松江には合わない、断念を

私たちは、次世代型路面電車（LRT）について、道幅が狭く、巨額な投資が必要で、松江市には合わないと主張してきた。

市長は、必要なのかどうかという観点からの検討をあまりしてこなかったと反省されているが、地域公共交通網形成計画が大詰めを迎え、総合計画も今議会の焦点となっているとき、最終結論を出すべきではないか。

回答　バスを接続した公共交通網を検討

LRTについては、これまでいろいろと検討してきたが、大きなハードルは、既存の道路に軌道を通すこと、多額の経費がかかることだ。そういったことから市民に必要性を説明し理解を得るのは非常に難しい。

橋北部には一畑電車、橋南部にはJR山陰線の駅があるので、各駅からの二次交通としてバスを接続させる公共交通網を検討していけないかと考えている。

貴谷（きたに）　麻以（まい）　（真政クラブ）

・ひとり親家庭の状況と支援の状況
・保育園の待機児童と出生率の増加
・子どもたちと教育について
・食フェスタにかかる店舗の負担軽減
・不昧公200年祭と和菓子・お茶文化の仕掛けについて
・医療福祉と温浴施設、終末期の生き方を支え合う地域づくりについて

質問　多世代で支え合う地域構築が必要では

多世代で支え合う地域づくりについて、都市計画指針も含めて広く伺う。また、医療人材の輩出や地域医療、福祉の連携について課題は何か。

回答　都市マスタープランの中で示していく

過去の反省も踏まえて、多世代の地域住民の皆様が支え合いながら、地域が継承されていくまちづくりの指針を都市計画マスタープランの中で示してまいりたい。次に、医療人材の輩出について、看護師は、市内の医師会や専修・専門学校等で人材が育成されているが、24時間体制で在宅生活を支えていく看護師の人材確保が課題である。また、地域完結型医療の実現を目指す地域医療構想と終末期の生き方については、在宅医療の充実が不可欠であり、医療と介護の連携を強化することで、限りある資源を有効に活用した効率的で効果的な医療提供体制を構築していくことが必要であると認識している。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

「選ばれるまち　松江」を目指して

松江市総合計画特別委員長　三島　良信

松江市が目指す将来像を明らかにし、これからのまちづくりの指針となるものが総合計画です。今後５年間の総合計画を定めるにあたり、昨年３月、松江市総合計画特別委員会が設置されました。これは、基本構想の策定、変更するときには、市議会の議決を経なければならないと条例で定められているからです。

特別委員会では、計画の内容、基本構想の素案について執行部から説明を受け、質疑をするとともに、各施策の目標値・達成年度の設定、具体的な施策の展開方針などへ意見を出してまいりました。そして、２月定例会において、総合計画を定めることについて審査、審議を行い、採決の結果、賛成多数により可決されました。

今後はより具体的な施策を展開し、目標の達成を目指すことになりますので、市議会といたしましても、松江市が行う事業の進捗、達成度、効果を検証し、市政のチェック機関としての役割を果たしていきたいと思います。

編集後記

議会広報の担当になり、２年の任期を終えました。この間、慣れない編集作業に戸惑いながら、何とか続けることが出来たのは、議会広報に対する熱い思いを持つ先輩方の存在のおかげであると感謝しております。

限られた紙面の中で、市議会の様子を読みやすく編集することは、本当に難しいことですが、市民の皆様にわかりやすくお伝えする上で、とても重要なことであると思います。引き続き、「まつえ市議会だより」へ多くのご意見をいただきますようよろしくお願いいたします。

議会広報等特別委員会委員　岩本　雅之

皆さんのご意見をお寄せください

いろいろなご意見をいただいており、ありがとうございます。ご意見については、委員会の場で検討させていただいています。

〒690-8540　松江市末次町86
議会広報等特別委員会（松江市議会事務局）
電　　話（0852）55-5433
ファックス（0852）55-5533
議会事務局メールアドレス
giji@city.matsue.lg.jp

ホームページアドレス
http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/